

行橋市のうつりかわり

～たてもの の 今と昔～



全スライド資料提供元：行橋市教育委員会

https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村、行事村、宮市村見取図」、「船屋」

小田孝子

恒川徹

宮田諭志

上村日向子

行橋市図書館

東京学芸大学附属竹早小学校

成城学園初等学校

成城学園初等学校

Q.ここはどこでしょう？



白黒の写真だから、昔の写真なのかな？

レンガのたてもものだね！見覚えがある気もする・・・



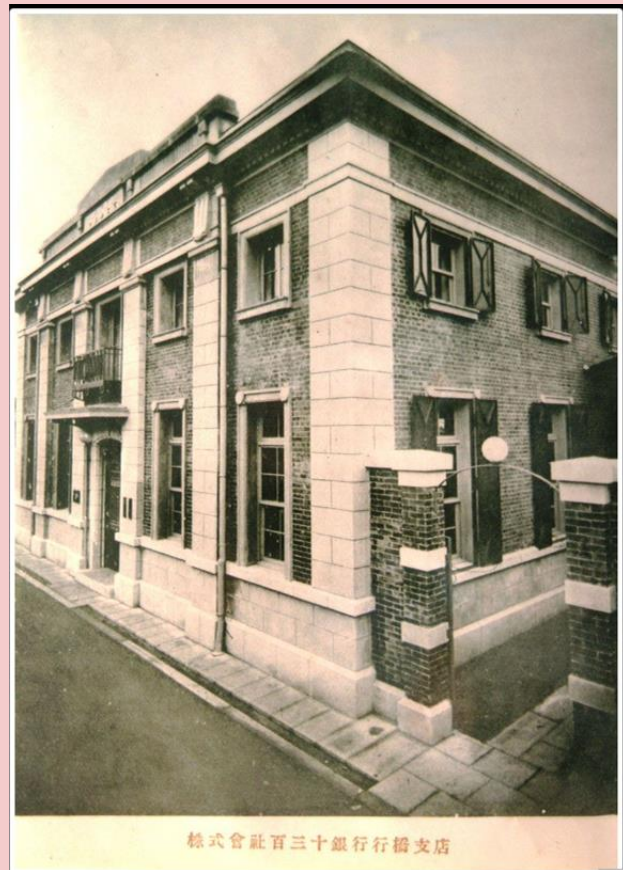
もしかして、わたしたちが知っている場所かも！



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

「行橋赤レンガ館」



株式会社百三十銀行行橋支店

https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮村見取図」,「旧百三十銀行行橋支店」

「行橋赤レンガ館」



今は、たてもものの中にカフェがあるね！
中は洋館のつくりでとてもおしゃれだね。

昔は、なにに使われていたたてもものだったのかな？



「行橋赤レンガ館」のうつりかわり



よーく見ると、写真の下に文字があるよ。



「銀行」と書いてあるね。もしかしたら、昔、銀行としてつかわれていたのかも。



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

「行橋赤レンガ館」



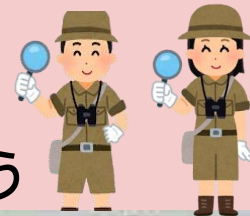
https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

当時、福岡県には4つしか銀行がなかった。
なぜ、4つのうち1つの銀行が行橋にあったのか？

「行橋赤レンガ館」のうつりかわり

* 「行橋市デジタルアーカイブ」で調べてみよう



旧百三十銀行行橋支店
大阪を本社とする百三十銀行の行橋支店の建物として、大正3年(1914)に建てられたレンガ建築。設計は清水組(現・清水建設)で、日本銀行本店や東京駅の設計で知られる辰野金吾の事務所が監修した。現在は創建当初の姿に修復され、市民のチャラー「行橋赤レンガ館」として親しまれている。この支店の前身は、江戸時代の豪商だった松本勘八郎らが創立した第八十七国立銀行である。当時福岡県に国立銀行は4行しがなく、在郡町大橋・行事の実力をうかがい知ることができる。

→【行橋市史】を読む

写真右の一覧から地名をクリックすると、地図上のピン📍をクリックすると、情報...

百三十銀行行橋支店竣工時の写真。

「行橋赤レンガ館」のうつりかわり

* 「行橋市デジタルアーカイブ」で調べた結果...



行橋百三銀行は、豪商「柏屋(行橋市大橋)」などによって設立された国立銀行。当時、福岡県には4つしか国立銀行がなく、行橋市が福岡県内で栄えていた場所であったことが分かる。

https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三銀行行橋支店」

なぜ昔の銀行の建物がカフェになっているの？




平成9年には取り壊される予定もあった？！




https://adeac.jp/fukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」



新しい建物を建てた方が、もっと便利なまちになるかもしれないよね。
どうしても残した方が良い理由があるのかな。



昔は有名な場所だったから、今でも有名な場所にしたいのかな？

なぜ昔の銀行の建物がカフェになっているの？

* 行橋市のしょくいんさんに聞いてみよう

(旧百三十銀行行橋支店は、平成9年に北九州信用組合が解散することになった際、市民より保存の要望があり、翌10年に市が買い取りました。なお、この買い取りには、行橋商工会議所の会頭を務めた平知信行氏より、市の商工業や文化の発展に使ってほしいとして寄付された寄付金が充てられました。

平成12年に市文化財指定、平成13年度に修復、平成14年7月に市民ギャラリー「行橋赤レンガ館」として開館、平成15年に福岡県文化財指定を受けました。

市民ギャラリーとしても長く愛されてきましたが、リブリオ行橋（行橋市図書館）の建設を受けて、より人が集まるエリアになったことで、訪れた人がよりゆっくりと時間を過ごすことができるよう、赤レンガ館でカフェ営業を開始しました。



市民の思いが詰まった場所＝「赤レンガ館」



住んでいる人たちが、市のしょくいんさんに、建物を残してほしいと伝えたんだね。

しょくいんさんによると、住んでいる人たちが、昔からある建物に誇りを持っているんだって。



今住んでいる人には、図書館とともに、ゆっくりと過ごせる場所として愛されているんだね。



昔も今も、行橋市の人にとって、大切な場所なんだね。そういう場所がわたしたちの住む場所にもあるかしら。



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

★コラム★

行橋のまちの発展に貢献した飴屋の建物は現在も残っている！ (門のみ)



左奥の門は市指定文化財「旧飴屋門」として現存する。(大正末期)



門の中には、4階建ての建物があったんだって。



飴屋の屋敷地内に建っていた4階建ての「快哉楼」。(大正初期)

「飴屋」の歴史

* くわしくは「行橋市デジタルアーカイブ」で調べてみよう



飴屋(あめや)

江戸時代に栄えた在郷町、行事・大橋を代表する豪商、飴屋の屋敷。南北方向の中津往来と長峡川に沿って田川方面に至る東西道路の交差点に隣接した広大な敷地に、飴屋を屋号とした玉江家の邸宅や蔵、作業場などが建っていた。また長峡川沿いにも飴屋の蔵が建ち並び、浜倉と呼ばれた。飴屋は家伝では宝永六年(1709)に農業の片手間に始めた飴の商いで栄え、次々に事業を拡大し、「飴屋七商」と呼ばれた。小倉藩屈指の豪商に成長した飴屋は藩の許可を得て私札(民間紙幣)も発行した。

現在は旧屋敷地の南面に「旧飴屋門」が残っている。小倉藩主の廻郡(領内視察)の際、飴屋の屋敷を訪れる藩主を迎えるために建てた門で、「御成門」(おなりもん)と呼ばれた。天保(1830~44)頃の建築と考えられる。現在は行橋市の文化財に指定されている。



左奥の門は市指定文化財「旧飴屋門」として現存する。(大正末期)



飴屋の屋敷地内に建っていた4階建ての「快哉楼」。(大正初期)

相向社
恵美須神社
西福寺
旧縁寺
禪興寺

[閉じる]

飴屋の酒屋店舗

粕屋

⇒『行橋市史』を読む

新屋

油屋

旧百三十銀行行橋支店

道・橋・川

長峡川

万年橋

中津往来

中津往来 横可口

舟路川

今川

画面上でズームします。
解説を表示します。

今の行橋市の様子

地図で確認してみよう



地図の中に、寺や神社など、昔から残る場所はあるかな？
地図帳がヒントになるかも。

★コラム2★

なぜ、東京駅と行橋レンガ館はよく似たデザインなのだろう？

「行橋赤レンガ館」



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

「東京駅」



<https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-q0ME7pww8Ok>

ジャパンサーチ、「(東京名所) 東京駅Yokyo Station Tokyo」
たましん地域文化財団

★コラム2★

どちらも「近代建築の父」が作った建物。この人は一体誰でしょう？

「行橋赤レンガ館」



https://adeac.jp/yukuhashi-city/viewer/mp200010-200010/ezu_kaisetsu/

行橋市デジタルアーカイブ、「大橋村行事村宮市村見取図」、「旧百三十銀行行橋支店」

「東京駅」



<https://jpsearch.go.jp/gallery/ndl-q0ME7pww8Ok>

ジャパンサーチ、「(東京名所) 東京駅Yokyo Station Tokyo」
たましん地域文化財団